

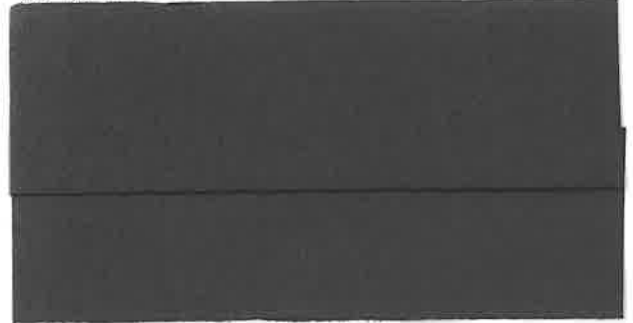
請願書
(陳情書) 受付第 5号

令和元年 11月 20日
西脇市議会事務局

令和元年11月20日

西脇市議会議長
林 晴 信 様

陳情者



播磨内陸医務事業組合立 播磨看護専門学校
存続に関する陳情書

1 陳情理由

日頃は、地域医療の維持・充実のために御支援いただいておりますことに対しまして、心よりお礼申し上げます。

播磨看護専門学校は、昭和51年4月に看護婦養成所として産声を上げ、41年目を迎える伝統ある看護師養成学校であり、本年3月には1,200名を超える卒業生を数えるまでに至りました。

「播磨看護専門学校」で「看護実践能力と豊かな人間性を身につけ、地域にはばたく人材」になるために、ともに学んだ私たちは、強いきずなで結ばれています。

- 一度社会に出てからチャレンジする友もいました。
- なかには色々な家庭の事情を抱えた友もいました。
- シングルマザーとして必死で子育てをしながら頑張り、看護師になった時、号泣した友もいました。

それぞれの人生をやさしく包み込んでくれたのが、私達の母校「播磨看護専門学校」なのです。

卒業後は、志を持ってそれぞれの道を進むこととなりましたが、初心を忘れることなく、在学時の熱い思いは現在も脈々と持ち続けています。

先般、新聞報道等において学校の存続が危ぶまれる記事を拝見いたしました。

思い出多い学校がこのような状況にあって、私たちは何の手立ても講ずることができません。

また、就学環境が恵まれている公立の看護師養成学校がなくなることになれば、家庭の事情により、夢に描いていた看護師への道が閉ざされる方々が出てくることを心配いたしております。

さらに、播磨看護専門学校があるからこそ、地元就職し、この北播磨の地域医療が支えられているものと自負いたしてもおりますし、地元定住することで地域住民として貢献していると思っております。

議員の皆様におかれましては、このような私たちの気持ちを御汲みいただき、存続に向けてお力添えいただきますようお願い申し上げます。

何かと不躰なお願いを申し上げましたことをお許しください。

【播磨看護専門学校存続のための主な理由】

- ① 厳しい家庭環境や経済的理由を抱えながら、看護師を目指している生徒の就学機会の確保ができます。
- ② 色々な思いで他の地域・職種からこの地で定住する看護師を目指す人材を受け入れることができます。
- ③ シングルマザーの方が子育てしながら看護師を目指すことができます。
- ④ 地元就業・定住に伴う人口流出対策になります。
(特に若い女性・高い学費＝私立ならば、生徒は4年制大学か都会の専門学校を選び地元へ帰ってくる可能性がとて低くなります。)
- ⑤ 今後危惧される在宅医療や訪問看護への従事者の確保・育成につながります。
- ⑥ 播磨看護専門学校が果たしてきた役割は未だ完遂しておらず、今後も需要が増してきます。
- ⑦ 地域に浸透しているこのシステムが一度崩れてしまうと二度と元に戻りません。
- ⑧ 北播磨の公立病院には看護実習を丁寧に受け入れてもらっています。私立専門学校になると他の地域から来て他の地域に就職する人の実習を受け入れることになり地元病院の負担が増え、丁寧な実習ができなくなります。

2 陳情項目

- ① 公立の播磨看護専門学校が存続するよう関係機関に働きかけください。

3 参考資料

- ① 新聞報道 (R1.4.26神戸新聞、R1.10.24読売新聞)

西脇、加西、加東市と多可町の3市1町でつくる「播磨内陸医療事業組合」が運営する播磨看護専門学校（加東市家原）を巡り、小野市が廃止した上で、市内に誘致を目指す民間医療系専門学校への教職員移転を提案し、波紋を広げている。同市は運営経費が不要になるなどのメリットを強調するが、3市1町は看護師の確保などに懸念を抱いており、今後、紆余曲折が予想される。

（まどめ・森 信弘）

播磨看護専門学校巡り小野市

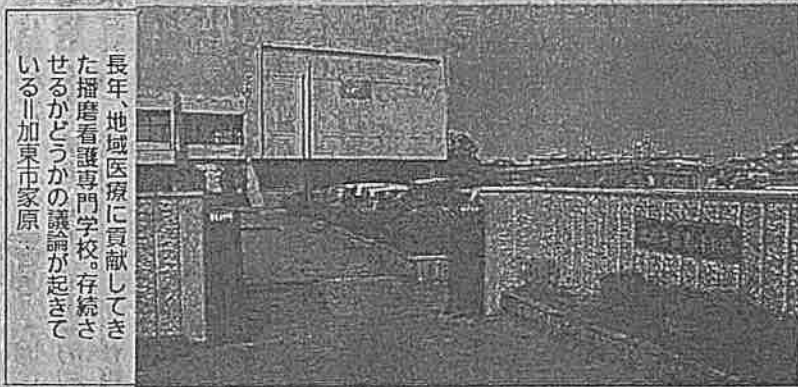
民間学校への移管提案

小野市によると、全国で専門学校などを運営する学校法人が進出を希望。用地は、播磨総合医療センターなど医療関係機関が集積する県有地で3・5畝を予定する。利点として、築40年を超える播磨看護専門学校の建て替えと運営経費が不要▽看護師の定員は同校の35人に対し80人に増え、北播磨への看護師供給体制が充実する一を挙げる。

3年制で定員は1学年200人。看護師のほか全国的に不足する言語聴覚士、理学療法士、精神保健福祉士が各40人で、最短期で2023年度の開校を目指す。

播磨看護専門学校は1976年に開校し、学生数は昨年12月現在で96人。ほとんどが3市1町の出身者で、卒業後も多くが地元の病院に就職するという。かつては、小野と

建て替え、運営経費不要など利点



長年、地域医療に貢献してきた播磨看護専門学校。存続させるかどうかの議論が起きている。加東市家原

播磨看護専門学校
3市1町でつくる播磨内陸医療事業組合が運営する。入学金は構成市町の出身者が10万円、それ以外は18万円。年間授業料は一律20万4千円。負担金は均等割と人口割を組み合わせて決まり、2019年度は、西脇市約2500万円▽加西市約2600万円▽加東市約2400万円▽多可町約1500万円。組合管理者は加東市長で、構成市町の職員による議会も設けている。

三木市も同校を運営する組合に入っていた。関西国際大（三木市）に看護学科ができ、両市は同組合との二重支援を避けるために脱退。だが、看護師不足の解消にはつながっていないという。

小野市の蓬萊務市長は「この先増える看護需要や多様化する福祉職員の必要性を考えた時、全て官で賄う時代は終わったのではないかと指摘する。」

3市1町の首長は3月末に管理委員会を開き、看護師確保の見直しなどを小野市から聞くことを確認したといい、5月の連休明けにも、同市側から説明があるという。管理者の安田正義・加東市長は「北播磨の医療圏域で必要な看護

師数が確保ができるかどうかが見えないと答えられない。」

西脇市の片山象三市長は「北播磨での看護師の有効求人倍率は6倍で、神戸の3倍。開業医も含めなかなか集まらない中、播磨看護専門学校の卒業生の大半は地元病院に就職、定住している」と存在価値を認める。また、授業料が低く抑えられており、「私学への進学がかなわない人らが、看護師への道を切り開く手段になっている」と公立ならではの役割も重視する。

西村和平・加西市長も「提案は検討に値するが、これまでの役割を担えるのかなど、慎重に見極めなければならぬ」としている。

多可町の吉田一四町長は「北播磨での看護師の確保については疑問が残る」との見方を示しながら、「今後、校舎の改築などが必要になれば、確かに負担は大きいと言えらる」と話す。

西脇、加西、加東市、多可町 看護師の確保に懸念

看護学校廃止案に懸念

加東など運営4市町 小野市、民間誘致で

北播磨地域で医療専門学校誘致、存続を巡って論争が起きている。小野市に民間の医療系専門学校が進出する可能性が高まり、蓬萊務市長が、競合を避けるため、既存の播磨看護専門学校（加東市家原）の廃止を提案。これに対し、同校を運営する4市町（加東、加西、西脇市、多可町）が懸念を表明。学校法人に経緯などの説明を聞く予定だが、「小野市長の提案への対応を決めるため、学校進出が前提ではない」としている。

（高田寛）

法人に経緯説明求める

大阪を拠点に全国で職業系専門学校など70以上の教育機関を運営する学校法人が、小野市に進出の意向を表明。これを受け、小野市は今春、北播磨総合医療センター1近くの小野長寿の郷構想区域に、3年制で1学

年定員200人の専門学校誘致を打ち出した。北播磨地域での安定的な看護師確保に加え、人材が不足している言語聴覚士や精神保健福祉士などの医療技術者の養成をする計画だ。ただ、北播磨地域には、

1976年開校の播磨看護専門学校がある。3年制で定員105人。多くの卒業生が地元の北播磨地域にある医療機関で働き、地域医療に寄与してきた。

蓬萊市長は5月、同校を廃止して、市が誘致する新たな専門学校に移行することを、4市町でつくる播磨内陸医療事業組合の管理者会に提案した。運営費や将来の建て替えなどに財政負担が生じることを理由に

「民間の活力とノウハウに委ねられるのに、公金によりすべて官が担う時代ではなくなくなった」と主張している。

これに対し、4市町の首長は、▽これまでと同じように北播磨地域で必要な看護

師数を確保できるのか▽定員が大幅に増え、学生の実習先の医療機関が不足するのではないか—といった懸念を表明。「議論するには、計画の詳細と学校法人側の考えを知ることが必要だ」として、学校法人の説明の機会をつくるよう、9月30日に蓬萊市長に伝えた。

管理者代表の安田正義・加東市長は、取材に「学校側の話は聞くが、誘致の計画を進めることが前提ではない」と強調。蓬萊市長は「地域医療を守る人材育成の環境整備に向けた議論に踏み込むことは、北播磨地域全体にとって大変有意義だ」との考えを示した。